令和８年度　学校関係者評価報告書

≪評価対象期間　令和７年度≫

令和８年１０月
多治見看護専門学校

１　学校関係者評価の実施方法及び公表について

学校関係者評価の実施にあたっては、令和８年７月２８日に学校関係者評価委員会を開催しました。本校から、「令和７年度 自己評価報告書」について説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。多くの貴重なご意見やご指導に対して、感謝申し上げます。

評価結果は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、それらの質の向上に努めるとともに、ホームページ等に公表します。

２　学校関係者評価委員

篠 田　耕 造 氏（公益社団法人岐阜県看護協会 会長）
若 尾　真 弓 氏（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 副院長兼看護部長）
原　　頼 子 氏（有限会社アットホーム 代表取締役）
村 瀬　京 子 氏（社会福祉法人　陶技学園　第一陶技学園）
永 田　陽 子 氏（岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 看護対策監）

３　評価結果

（１） 評価項目ごとの評価点

評価点：よい・・５、ややよい・・４、普通・・３、やや不十分・・２、不十分・・１

評価項目	評価点
１　学校経営	４．８
２　学科運営	５．０
３　入学・卒業対策	４．２
４　学生生活への支援	４．８
５　教職員の育成	４．４
６　管理運営・財政	４．６
７　施設設備	３．８
８　社会貢献・地域活動	３．８

（２） 評価項目ごとの意見及び今後の対応

別紙のとおり

（３） 総評

全８項目に対し、評価委員による評価の平均値は4.4（５段階評価）で、本学の学校運営、教員活動は各評価項目について概ねよいとの評価をいただきました。

本校としては、学校運営の質の向上のために、今回の評価でいただいたご意見を踏まえ、引き続き改善に取り組みたいと考えます。